

各団体の取組み事例

富山県商工会連合会	P1
富山県銀行協会	P3
環境市民プラットフォームとやま	P5
富山県女性財団	P7
富山市	P9
南砺市	P13
滑川市	P15

報道機関各位

富山県商工会連合会
富山県中小企業研修センター

富山県中小企業研修センター利用者に対する 市内電車（路面電車）利用券の配布について

富山県商工会連合会（会長：宮本光明）は、富山県中小企業研修センター利用者に対し、富山地方鉄道株式会社（以下、富山地鉄）の協力を得て、市内電車の無料券を配布いたします。これにより、貸館としての利便性の向上を図るとともに、公共交通利用の促進によってCO2排出量の削減によるSDGsの取り組みに貢献いたします。

記

1. 取り組み趣旨

当センターは、貸館として恒常的に利用している企業・団体が多いほか、各種資格試験や入学試験、一般企業等の面接会場として100名超の大人数が利用するケースも少なくない。

一方で、駐車場の台数は限られており、大人数の利用がある場合、駐車場の不足が度々発生しており、貸館としての利便性における課題となっている。

そこで、当センターが市内電車（路面電車）の龍谷富山高校前（永楽町）から至近であることに着目し、富山地方鉄道株式会社（以下、富山地鉄）の協力を得て、利用者に対し市内電車の無料券（240円、当日1回限り有効）を配布する。これにより、貸館としての利便性の向上を図るとともに、公共交通利用の促進によってCO2排出量の削減に貢献するものである。

2. 具体的な内容

（1）開始時期

- ・令和7年4月～

（2）手続き（当センター⇄主催者）

- ・主催者は利用日の10日前を期日として、必要な無料券の枚数を当センターに申請する。
- ・当センターは、当日主催者に帰りの分として無料券を渡し、主催者から利用者に配布する。

＜無料券配布の対象＞

- ①利用者が特定されていること（講演会等で不特定多数が参加する場合は対象外とする）
- ②利用者が20名以上であること

（3）手続き（当センター⇄富山地鉄）

- ・当センターは、富山地鉄に対し、利用日の1週間前を期日として、無料券の利用日および発券枚数を通知する。
- ・富山地鉄にて1か月間の利用枚数を集計し、当センターに対し請求書を発行する。
- ・当センターは、請求書発行から30日以内に、請求額を所定の口座に振り込むものとする。

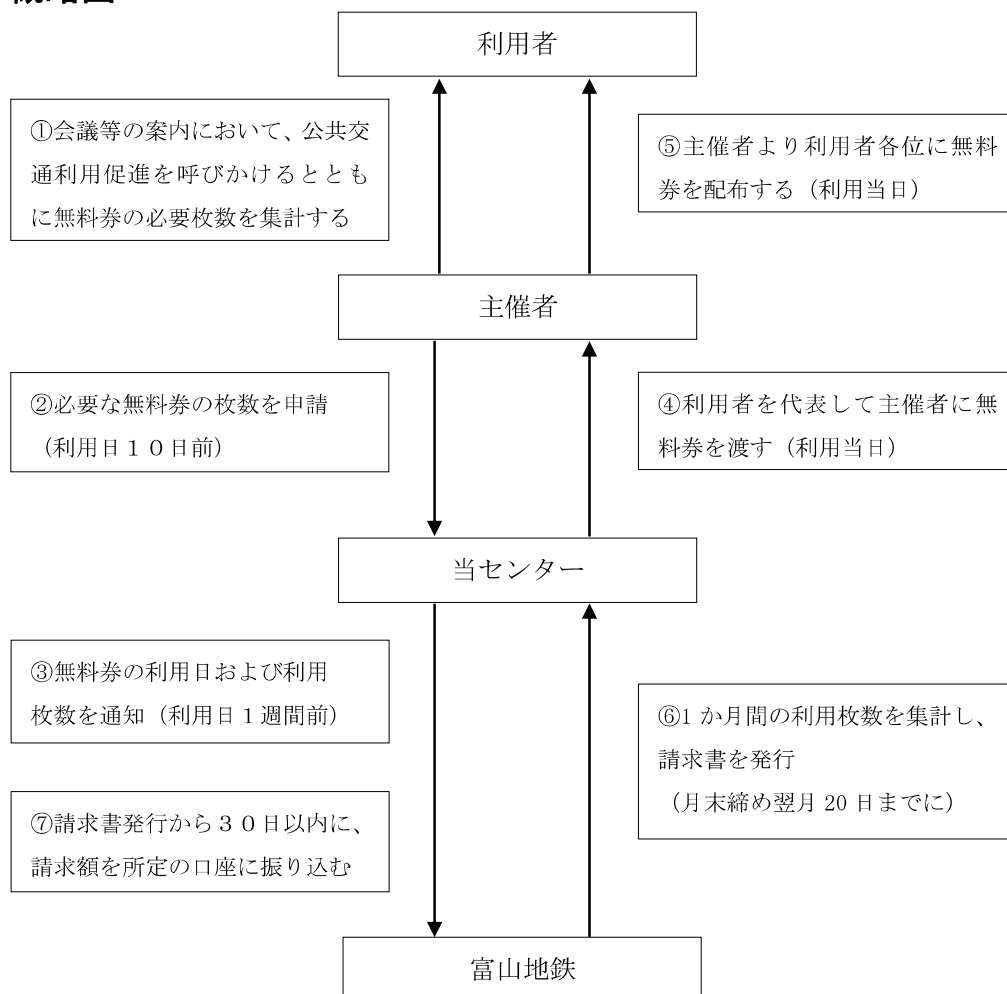
（4）その他

- ・無料券は当センターにてデザインを作成、印刷するものとする。
- ・無料券には利用可能日を明記するとともに、二次元バーコード（市内電車各路線の運行状況にリンクするもの）を添付する。
- ・主催者に対し、利用者への案内において、当センターの駐車場が限られていることから、公共交通利用促進を呼びかけるとともに、希望者に市内電車の無料券（240円、当日1回限り有効）を配

布する旨、明記を要請する。

- ・本件は富山地方鉄道㈱と改善等を重ねて進めていく。

3. 概略図

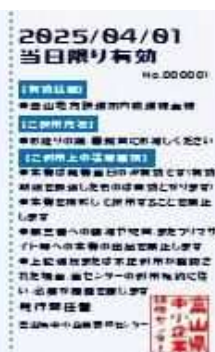


4. 無料券デザイン(案)※実物は名刺サイズの予定です。

(前面)



(背面)



[本件に関するお問い合わせ先等]

富山県商工会連合会 組織運営課 課長 大野 秀 樹

〒930-0855 富山県富山市赤江町1番7号

Tel: 076-441-2716 Fax: 076-433-8031 Mail: ohno@shokoren-toyama.or.jp

1. 富山県銀行協会の取り組み

(1) 取り組みの現状

- ・小学生を対象に、実際に銀行業務に触れてお金について知る「夏休み銀行探検隊」の企画（目標④）
- ・地銀3行、信金7庫と警察と各金融機関による特殊詐欺防止に関する協定締結（2/28）、より具体的な情報交換が可能となった。
- ・SDGs宣言等、富山県の方策を会員銀行へ周知徹底

(2) 課題と今後の予定

- ・県内の特殊詐欺被害が過去最高を更新。県警本部、関係機関と連携して防止に注力。
- ・県警本部、財務事務所、日銀、各金融機関による連携協議会を立ち上げ。定期的に情報交換と詐欺対策方策を確認。

2. 各行の富山県SDGs宣言「当社の取り組み」

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
当行は、経営理念である「健全経営を維持しお客さまから信頼されること」、「地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること」、「創造性、自発性を尊重し明るい企業文化を創ること」に基づき、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け取り組んでまいります。	富山第一銀行グループは「限りなくクリア（透明）、サウンド（健全）、フェア（公平）」の経営理念のもと、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の主旨に賛同し、私たちの企業行動を地域の社会的課題の解決と地域経済の発展につなげ、持続可能な社会の実現に努めてまいります。	北陸銀行は、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

3. 各行の取り組み（ニュースリリース2024年4月～2025年3月より一部抜粋）

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
寄贈型SDGs私募債による学校等への寄付	小学生向け金銭教育出前講座実施（直近年度83回2,289人受講）	寄贈型SDGs私募債による学校等への寄付
「北陸地域脱炭素セミナー」開催（10/18）	富山商業高校への金融経済教育出前講座実施（3年生6クラス234名）（12/5、12/6）	「SDGs宣言」策定支援
富山大学経済学部における寄付講義（特別講義）実施（6/27）	富山ファーストバンク社会福祉基金による30先への助成実施（12/15）	事実婚・同性パートナーへの住宅ローン対応（7/13）
「TOYAMA SDGs AWARD 2024」募集開始（9/20）	ファーストバンク社会福祉基金による寄付	舟橋村と「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」活性化に関する契約締結（1/24）、北陸～北海道各市町村との契約33件
小学生の夏休み体験プログラム「自然のドア」への協力（8/18～22、25名参加）	「SDGs取組支援サービス」の取扱い実施	令和6年の「企業版ふるさと納税」の紹介は233社から397件/309百万円の寄付実績、うち能登地震復興・復旧事業に対する紹介は221社から354件/275百万円。
	「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」促進	
		「北陸地区脱炭素セミナー」開催（11/19）
		北銀奨学助成財団より、県内中高20校に、'24年度教育用備品約500万円を寄贈。（10/31）

一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PEC とやま）
（2025/4/25 富山県 SDGs 推進連絡協議会 配布資料）

【主な取組紹介】

- SDGs における地域の NPO 等市民活動団体の社会的認知向上とエンパワメント、及び自治体・企業等との連携促進のための全国プロジェクト
→権利基盤型アプローチ（Rights Based Approach : RBA）の重要性を共有
<https://www.sdgs-japan.net/about-4> （紹介動画が近日中公開）

- 災害時を想定した官民連携（三者連携）に資する富山県内の市民団体ネットワーク（NPO 法人まちづくりスポットとやま、富山県県民生活課、富山県社会福祉協議会 等と連携）

- 富山の SDGs 進捗（2020～2025 年）をトピック別に掘り下げていくラジオ番組
「PEC とやまの SDGs カフェ」 富山シティエフエム 77.7MHz
毎月 第1・2週（水） 14:00-15:00、（木） 18:00-19:00、（日） 11:00-12:00
※インターネットでも聴取可能 <https://www.jcbasimul.com/toyamacityfm>
<5月のテーマ・ゲスト>

「生物多様性」 横畑泰志さん（富山大学 富山大学 理学部 教授）

<過去回の例>

4月：不登校（ゲスト：星槎フリースクール富山・魚津 代表の飯田良智さん）

→富山でも全国でも倍増している。一方 富山では支援する団体が増えたり、連携・協力し合う体制が進み、不登校の子どもたちへの支援体制は厚くなっている。

【アーカイブ聴取】 <https://x.gd/bZEiC>



(公財) 富山県女性財団の取り組み



(公財) 富山県女性財団は、富山県の男女共同参画の推進の拠点施設である富山県民共生センター(サンフォルテ)の指定管理者とし、その管理運営と事業を展開しています。

I 男女共同参画推進のための事業方針

- (1) 地域社会における男女共同参画推進と固定的性別役割分担意識と無意識の思い込みの解消
- (2) あらゆる分野における女性の活躍推進及び若い女性に選ばれる社会環境づくり
- (3) DV被害者、環境変化による生活上の困難を抱えた女性の包括的な支援強化
- (4) 若年層も尊厳と誇りを持って生きられるよう、男女共同参画意識啓発の推進
- (5) 男女ともに働きやすい職場環境づくり、男性の家事・育児・介護への参画推進

II 令和6年度の事業(取り組み)

区分	事業
相談	女性問題、男女平等に関する相談をはじめ、女性・男性の生き方、家族・人間関係、育児・家事や仕事に関する悩み、DV等、多様な相談に応じる。
情報提供	男女共同参画の様々な情報を提供する。
調査研究	啓発資料の提供



サンフォルテ



パパと一緒に顔パンを作ろう！



区分	事業	内容
講演会 講習会 研究会	メンズプラスセミナー	男女共同参画の必要性やアンコンシャス・バイアスの解消について、男性側から考える。 「パパと一緒に顔パンを作ろう！」 パン教室リト 岩田 緑
	こころ&からだセミナー	女性のウェルビーイングのためにこころとからだの健康を支援する。 「今すぐスッキリしたいあなたへ 自力整体にチャレンジ!!」 自力整体ナビゲーター 宮田篤子 「更年期は怖くない～オトナ女子のための“カラダとココロ”術～」 産婦人科医・医学博士・産業医 高尾美穂
	わくわく人生セミナー	男女ともにかかわる生活上の課題や社会ニーズをとらえたタイムリーな話題に、男女共同参画の視点をもって取り組むための講座を実施する。 「そのカワイイは誰のため？ ルッキズムをやっつけたくてスリランカで起業した話」 kelluna代表 前川裕奈 シネマサロン「マダム・イン・ニューヨーク」
	サンフォルテみらい塾	男女共同参画にかかる、国等の動きを踏まえた最もタイムリーな講演会を実施し、啓発につなげる。 「脚本家・吉田恵里香の視点～エンタメに込めたメッセージ～」 脚本家・小説家 吉田恵里香

講演会 講習会 研究会	女性に対する暴力のない社会を実現するための講座	DV等防止啓発講座	「かわいいね」から始まる子どもへの詐欺行為～性的グルーミング～」 追手門学院大学 教授 櫻井 鼓
		教員等のためのDV防止啓発講座	高岡市高陵小学校
		若者のためのデートDV予防啓発出前授業	高校7校、中学校1校、小学校2校



こころ&からだセミナー



わくわく人生セミナー



サンフォルテみらい塾



DV等防止啓発講座

区分	事業	内容
人材育成	男女共同参画の視点を持った人材の育成。 男女共同参画推進員などの初心者からリーダー育成までの段階により講座を設定している。	サンフォルテカレッジ基礎・入門編 富山市、南砺市、砺波市で開催 サンフォルテカレッジ講師派遣型 桜婦会：「男女共同参画であなたの地域の防災力をアップしよう」 入善町男女共同参画推進友の会：「男女共同参画であなたの地域の防災力をアップしよう」
		カレッジセミナー 「100歳まで生きる時代のリスク～親の『遠慮』と子の『油断』～」 社会学者 春日キスヨ サンフォルテサポーター事業…施設サポーター、学生サポーターの活用
		サンフォルテフェスティバル（2日間）（6/22,23） 【富山県部門功労表彰】【基調講演】【シネマ】【ワークショップ&展示】【フェムテック紹介コーナー】【高校生による研究発表展示】【メッセージ募集】【私のワークスタイル動画】【サンフォルテ情報発信コーナー】【主催者・能登半島地震復興応援ショップ】
個人及び団体相互の連携促進	県民が男女共同参画を学ぶとともに、団体やグループの交流の場となるフェスティバルを女性団体と関係機関とで組織する「サンフォルテフェスティバル実行委員会」の企画・運営で開催する。 男女共同参画を進める団体やグループを支援し、連携を進める。	サンフォルテカレッジ企画型 3団体エンパワーメント会議
女性の就業支援・女性活躍推進	女性の就業支援と職場でのリーダー育成による女性活躍を進める。	働く女性や起業してみたい女性のためのセミナー 1回 PC初心者向け 再就職にすぐ役立つ講座 4回 DV被害者等のための自立支援講座 6回
受託事業	煌めく女性リーダー塾(3コース)、女性のキャリアブランク解消講座 6回	



就業支援のセミナー



サンフォルテフェスティバル





【概要版】

富山市企画管理部企画調整課

富山市版SDGs学習ゲームの制作・完成

- ・(株)すなばコーポレーションが開発した、市販の子どもと大人のSDGs学習ゲーム「**Get The Point**」を富山市版（ご当地版）にアレンジ（R7.2月完成）。



- ・富山市版のオリジナルカードの内容について、五福小学校や富山南高校での体験会のほか、大学生、企業等が参加するワークショップを開催し、検討を行った。

R6.7月 五福小学校での体験会（5年生）

R6.7月 企業、大学生等による検討ワークショップ（1回目）

R6.8月 企業、大学生等による検討ワークショップ（2回目）

R6.11月 五福小学校での「試作品体験会（4年生）」

R6.12月 富山南高校での「試作品体験会（1・2）年生」



五福小学校(5年生)

富山市版のオリジナルカード①（資源・アイテム）

・学習ゲームの要素に、富山市の特色（まちづくり・特産品・芸術文化等）を反映させることで、より身近な問題としてSDGsを捉える。富山市の魅力の再発見に繋げる。



【資源カード(全6種類)】

【アイテムカード(全13種類)】

富山市版のオリジナルカード②（イベントカード）

・持続可能な社会の実現を目指す上で、プレイヤーにプラス又はマイナスの要素をもたらすカードに、富山市の取組と実際に抱えている課題を反映



【サステナブルカード(全7種類)】



【クライシスカード(全5種類)】

富山市版SDGs 学習ゲームの内容・進め方

- ・資源カード（鉄、化石燃料、海産物など）を使って、アイテムカード（「寿司」、
「水素自動車」など）を作成して、アイテムポイントの合計点を競い合うゲーム。



- ※ 1 ゲーム目は、グループ内の**個人戦**で、一番多くポイントを獲得した者が勝者
- ※ 2 ゲーム目は、4 人一組の**チーム戦**となり、一番多くポイントを獲得したチームが勝利
- 2 ゲーム目のみ、[**サステナブルカード(持続可能)**]、[**クライシスカード(危機)**]が発動する。



富山市版SDGs 学習ゲーム（まとめ）

- 【**学べる事**】・プレイヤーは「2つの世界」を体験するゲーム設定。1 回目は「奪い合い競争する世界」、2 回目は「持続させるために協力する世界」。
- ・この2つの異なる世界を、ゲームを通じて経験した後、**自らの経験を比較することで、SDGsの基本となる考え方を学ぶことができる。**

- ◇「**持続可能な社会とは、ということか？**」
- ◇「**なぜ、持続可能な社会をつくる必要があるのか？**」

- 【**特徴**】・使用するカードに、富山市の「特産品」や「まちづくり・地域課題」などの、**富山市ならではのオリジナル要素が反映**されているため、SDGsを、**より身近な問題として「自分ごと化」**することができる。

- 【**所要時間**】 90分～120分（ゲーム2回及び振り返りを含む）
- ※ゲーム実施後の振り返りを充実させるための、**専用学習ブック**もあり。

- 【**対象年齢**】 小学3年生から大人まで

- 【**参加人数**】 1グループ4名でプレイ（15グループ・60人まで同時に実施可）

- 【**活用方法**】 学校の授業・活動、企業研修、出前講座など（予定）

- 【**実施条件**】 ゲームの進行役は、ファシリテーター資格を有している必要あり

令和6年度 南砺市のSDGs推進に向けた取組

令和6年度南砺市では「地域課題を意識した行動の拡大と繋ぎ合わせ」を取組のポイントとして以下のSDGs推進事業に取組んだ。

(1) 地域の企業・団体の活動を可視化

■なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信

地域おこし協力隊や市内中学生が「なんとSDGsパートナー」へSDGs視点でのインタビューを行い、地域のための事業・活動を紹介する記事を作成し南砺市HPやSNSで発信

- 「NPO法人よってカフェ」を訪問。住み慣れた地域で誰もがつながり幸せに生きられる居場所づくりに取り組む



- 地域新電力「㈱なんとエナジー」を訪問。「14歳の挑戦」で中学生2名が、地域おこし協力隊と一緒にインタビュー



- 「南砺市立城端小学校」へ訪問
5年生恒例行事の「もち米づくり」や「たい肥づくり」についてインタビュー



地元農家を講師に、たい肥づくりや無農薬のもち米づくりに挑戦

(2) 地域課題を意識した取組、連携を促進する企画の実施

■SDGsカフェ

各回テーマを設定し、活動の背景や課題、そこにかける思いなどを伺い、参加者みんなで緩やかに対話し、気づきや感想を共有しながら、新たな視点やつながりを得ていく「カフェ」感覚の交流会

- 学生と語り合おう！南砺市のSDGsアイデア



大学生と市民が地域課題の解決に向けた深掘り議論



グループワークをグラフィックレコーディングで可視化

- 自然体験をみんなに！
～実践者の活動紹介～



自然共生活動団体による公開ワークショップ

■大学との連携

富山国際大学と連携し、学生がSDGs視点で地域づくりを学ぶためのフィールドワークを市内で行い、課題解決につながる提案を発表。

現代社会学部1年生（約100名）が18グループに分かれ市内11事業所を訪問



子ども食堂の運営を聞き取り、フードリボンの普及を考える



製材・加工の現場を訪問、森林資源の有効活用を検討



フィールドワークを経て、事業者の皆さんも参加しての提案発表会

■SDGsパートナーとの連携



なんとSDGsパートナー ロゴマーク （現在登録数：146団体）

市内でSDGs達成に向けた取組を実践する団体等を

「なんとSDGsパートナー」

として登録。パートナー相互の交流や連携した取組を促進。



南砺市環境保健協議会と「スポGOM I inなんと」を共催

（3）その他のSDGsの推進に関する取組

■エコビレッジフィールド推進事業

市内企業と連携し、人や自然とのふれあい、にぎわいに満ちた「南砺らしい新たな暮らし方」を体験できるフィールドをエコビレッジ構想のモデルエリア「桜ヶ池周辺」に整備。

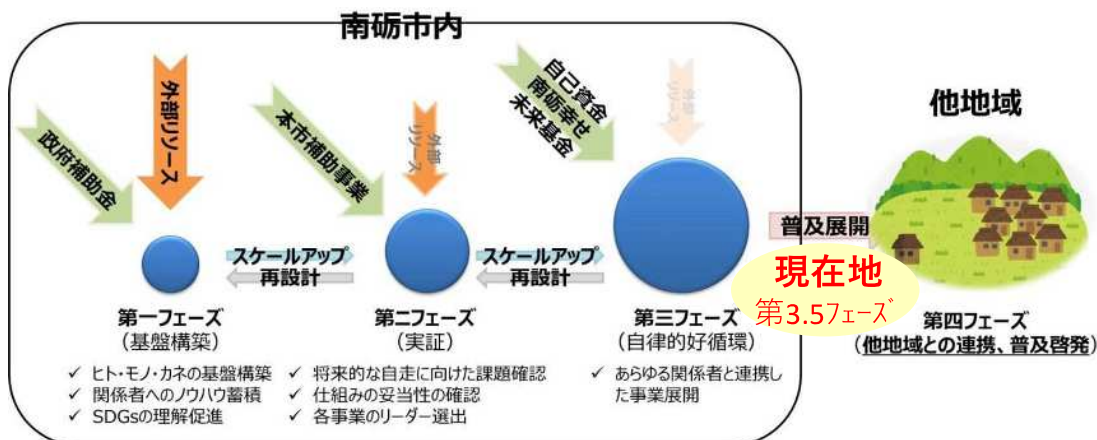
（2026年秋頃開業予定）



※イメージ図

南砺市第3期SDGs未来都市計画を策定 （計画期間：2025～2027年度）

将来的な自走に向けた行程の最終第4フェーズへの移行に向けて、市民や企業、ステークホルダーなどと連携した取組の創出にさらに重点を置く。



SDGs未来都市 なめりかわ

経緯

令和6年5月 「SDGs未来都市」に選定

令和6年7月 「滑川市 SDGs未来都市計画」策定

2030年のあるべき姿

「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」

- ①【環境】2030年の先も変わらぬ「ホタルイカのまち」
- ②【経済】新たな仕事や人材が生まれ育つ「地育地生のまち」
- ③【社会】誰もが安心して暮らせる「優しいまち」

[Read More >](#)

の3本の柱で取り組みを進めています。

【環境】2030年の先も変わらぬ「ホタルイカのまち」

令和7年度～

海の「藻場」造成調査

東京海洋大学、富山県水産研究所、滑川漁業協同組合、滑川高等学校海洋科と共同で、資源豊かな富山湾の環境を次世代に受け継いでいくため、本市沿岸の藻場の現況調査や海の環境にあった効果的な藻場の再生方法等について調査研究

イメージ図



13 気候変動に
具体的な対策を



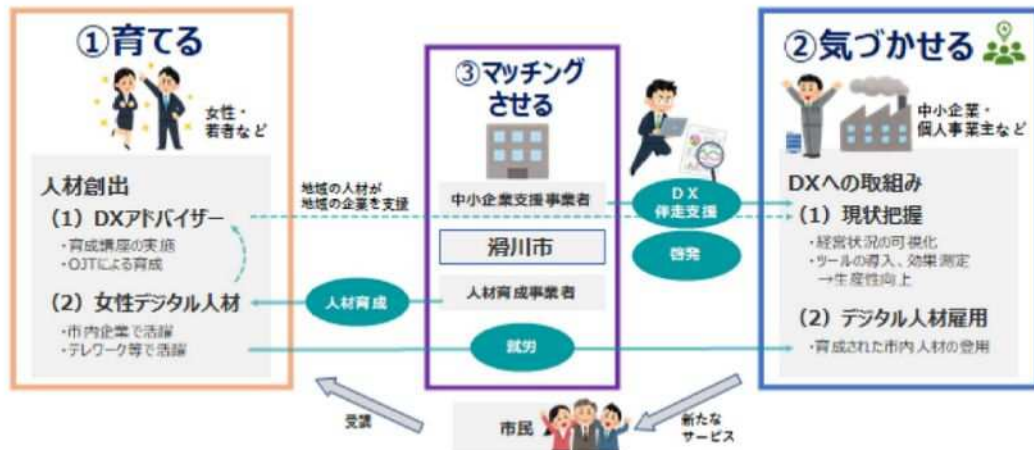
14 海の豊かさを
守ろう



【経済】新たな仕事や人材が生まれ育つ「地育地生のまち」

令和6年度～

滑川イノベーション推進事業



①人を育て、②DXの必要性を市内企業に気づかせ、③マッチングさせる

【社会】誰もが安心して暮らせる「優しいまち」

令和7年度～

誰一人取り残されない情報伝達事業

デジタル機器を持たない・使えない高齢者等への情報伝達と見守り等を実証実験

